

第18回例会

通算第 1253 回例会 2025 年 12 月 10 日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ローターソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:平栗幹也さん
- ▶ ゲスト:白岩 薫様(船引 RC)

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

2530 地区社会・国際奉仕委員長の白岩さん、今日はようこそおいでくださいました。先日は船引 RC の例会でおいしいご食事いただきながら楽しい合同例会をさせていただきました。改めて感謝申し上げます。昨日は中央分区分会幹事会が開催され、親睦を深めながらいろんな情報交換をさせていただきました。中央分区分では今年度に周年を迎えるクラブが 4 つあります。船引 RC さんから昨年度の 50 周年記念誌をいただきましたので、30 周年に向けていろんな形で参考にさせていただければと思っております。4 月 19 日(日)に矢吹カントリークラブで行う 30 周年の記念ゴルフコンペを市内 9 クラブの会長さんにご案内申し上げます。楽しい記念チャリティーコンペをしたいと思っておりますので、ゴルフをなさる方は今から予定していただきたいと思っております。

▶ 出席報告:井上 厚 出席委員長

会員数 43 名、出席 20 名、欠席 23 名、出席率は 46.52%です。

▶ スマイル BOX 報告:増子ふみえ スマイル BOX 委員長

白岩薫様、宮崎登志行会長、平栗幹也さん、片桐栄子さん、鈴木おおるさん、味戸誠一郎さん、蔭山寿一さん、佐藤功一さん、土屋繁之さん、星 相ノ介さん、牧野節子さん、増子ふみえの 11 名からいただきました。

プログラム:ゲスト卓話

- ▶ 国際ロータリー第 2530 地区
社会・国際奉仕委員会委員長
白岩 薫様「国際奉仕とは」

ちょうど 1 年前にお邪魔しまして、地区の活動を中心にお話をさせていただきました。前回は皆さんからのご意見をいただく時間がありませんでしたので、今日はなるべく早口で話して、皆さんのお声をお聞きたいと思っております。今年度地区社会・国際奉仕委員会で計画しました活動計画が 4 つございます。より大きなインパクトを持つような奉仕活動の推進、ポリオ根絶活動の推進、委員会セミナーの開催、クラブ奉仕活動についての調査です。年度が始まる前にガバナーからご依頼がございましたので、それをもとに委員会がこの 4 つの活動項目を掲げました。ここ 3 年、私は地区協議



会とか委員会セミナーを盛んにやってきたつもりですが、皆さんに届いているかどうか分からないところがありますので、入り口についてお話をしたいと思っております。

まず「より大きなインパクトを持つような奉仕活動の推進」についてですが、6~7 年前までは「効果的な」という言葉を使っていました。3 年前に「インパクトのある」という形容になり、その次の年に「大きなインパクト」という形容に変わりました。これだけでも RI としてはどんどん強調してきていることが分かります。文章を見ると確実に変わっていて、極端に言えば私たちがやってきた奉仕活動を見直していかなければいけないとか、もっと強い言い方をしたいのだろうか、方針的には相当強いと思っております。私たちが日常的に使っている「インパクト」とはちょっと意味が違うように受け取りましたので、いろいろ調べました。

RI からそのままのタイトルの「ロータリーインパクトハンドブック」が出ております。マイロータリーに載っていますし、ニュースレターなどにはリンクが必ずついております。印刷しますと両面で数 10 ページになります。ご存じない方がいるとちょっと寂しいのですが、今日はせっかくお邪魔したのでポイントだけお話をさせていただきたいと思っております。内容はご自分でご覧いただきたいと思っております。インパクトという言葉の意味を正しく理解すると、興味を持っていただけたらと思っております。ジョン・ヒューコさんが 2022 年の国際協議会で世界から集まったガバナーの前で「インパクトとは何を意味するか?」という講演をされました。当地区では佐藤正道ガバナー年度でした。ヒューコさんの娘さんから「お父さん、ロータリーは一体何をやっているの?」という言葉ももらったそうで、そこに気づかされたという内容の講演のビデオを 3 分ほどご覧ください。<ビデオ上映>

「インパクトについての用語集」と言っていますが、結果と成果は違いますというようなことをしっかり認識していただきたいという、用語解説のビデオです。インパクトに関わるものの中に出てきます。それと事前調査をしないというのがインパクトの最初の段階です。インパクトのある奉仕活動のために事前調査をしないということですが、ニーズを確認してプロジェクトを始めてくださいというような感じです。半年ほど前に各クラブに「ロータリーインパクトハンドブック」の案内を出しました。ぜひインパクトのある奉仕活動に興味を持っていただきたいと思っております。例えば何かイベントをして、うまくいきましたという結果で終わるのが普通だと思っております。それから先のこと、どのぐらいの地域に対して波及できたのか、波及できるような事業だったのかということです。どのぐらいの地域に対して波及することができたのかという、後々の広がりですね。例えばアーバンコスモスさんがやっている奉仕プロジェクトに別の団体さんが一緒にやってみたいと参加するということがインパクトのひとつですね。全てではないけれども広がっていき、継続性のあるような、波及することができるような事業だったのかということが、インパクトのひとつということなんです。

今年の9月に開催した委員会セミナーでもインパクトを取り上げました。講師にはフィリピンのセブで国際NPO法人DAREDEMO HEROを主宰されている内山順子さんをお呼びしました。ガバナーにも相談してフィリピンから来ていただきました。内山さんはしっかりした理念を持って活動されていて、「志を忘れずに努力を続ければ、必ずDAREDEMO HEROが夢の実現まで支援する!」とホームページで謳っています。セミナーのテーマは「セブの貧困層から未来のリーダーを育てる」としました。貧しい子どもたちの中から選抜して、将来のリーダーに育てるという活動をしっかりやっておられ、航空パイロットや学校の先生も生まれたそうで、看護師だった人がまもなく歯医者さんになるそうです。将来のフィリピンを背負うために「諦めないでやる気を出せばちゃんと応援するよ」と本気で支援している方です。写真にあるように、青空学校のように見えますがこれが選抜チームの勉強会だと思います。もうみんな諦めてしまうような生活状態ですけど、絶対に諦めないでやる気を出せばちゃんと応援するよとして活動している国際NPO法人です。郡山の某クラブがここと一緒に活動したいという感じで今動いていらっしゃる。毎年10月24日は世界ポリオデーです。皆さんに街頭募金をしてくださいと呼びかけをさせていただきました。そのために公共イメージと財団との3委員会で作ったリーフレットを作り、各クラブに150部ずつ6月にお届けしました。ポリオの感染が最も危険とされるのは5歳ぐらいまでです。若いお母さん向けにかわいい感じのリーフレットを作って配布をさせていただきました。ポリオの現状は、今年の11月24日までにパキスタンで30症例、アフガニスタンで9症例の合計39症例です。紛争や宗教上の問題によりワクチンの接種が非常に厳しいので、なかなか難しいところです。ロータリーはポリオに対して丸40年資金投入をしてきております。根絶まで「あと少し」と言っていますけど、症例は2カ国だけの39症例だけです。抑え込んだと言えると思いますが、根絶には至っていません。非常に国と言われていたモザンビークとマラウイは発症ゼロが続いておりますので、こちらはまもなく根絶と言えると思います。ぜひ来年も街頭募金などにご協力をよろしくお願いいたします。

クラブの奉仕活動状況についての調査として、9月に各クラブに社会・国際に関わる奉仕活動のアンケート調査を実施させていただきました。10月17日に回収を終了し、概ねの集計ができました。年が明けましたら各クラブに報告書としてお配りをしたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

最後にひとつ情報をお伝えしたいと思います。現在、2530地区に対してワールドファンド、グローバル補助金を使った事業のオファーをモンゴルからいただいております。事業の内容も計画も明確ということなので、進める方向で今動いておられて、窓口となるクラブに話は通っておりますが、1つのクラブでマッチングをするのではなく、2530地区の中

の5~10クラブをお願いしたいと思っております。こちらで準備しなくてはいけない資金は、おそらく100万から150万ぐらいです。1クラブだと結構大変かもしれませんが、例えば10クラブ集まると10万ぐらいずつ出すとグローバル事業に参加ができるということになります。参加しましたという結果は結構大きいのではないかと考えています。2530地区は国際奉仕関係にあまり強いとは言えないと思っております。もうちょっとやってもいいのではないかと考えております。他の地区を見ますと、結構グローバル補助金を使って事業をしています。1クラブで毎年やっているところもあります。そのきっかけになればいいなと思ひまして、先駆けてご紹介をさせていただきました。幹事クラブに手を挙げてくださっているところがあるので、そこを中心にまずスタートして、いくつかのクラブという形で進むかなと思っています。現実味が帯びてきておりますので、その場合は手を挙げていただくと、グローバル事業に参加できますのでよろしくお祈りしたいと思います。地区内各クラブの奉仕プロジェクトの成功と会員各位のご活躍をお祈り申し上げます。時間があまり残っていませんけれども、ご質問とかご意見をいただきたいと思ひます。

松川義行さん:姉妹クラブである台湾新竹東北区RCさんとグローバル補助金を活用させていただいて、水と衛生の分野で、簡易水道システムを台湾の山間部の村に寄贈する事業を2回ほど行い、3回目の申請をしましたが、グローバル補助金の審査が厳しくなったようで通りませんでした。申請とか結果報告が最近では厳しくなっているイメージがあります。何か情報があれば教えていただければと思います。

台湾との水のプロジェクトは他でもやっていて、同じような奉仕活動はダメだということです。制限とか事後の報告とか結構厳しいためにグローバル補助金は敷居が高いと言われるように思います。内容次第というところも非常に大きいかなという感じはしますが、ぜひ手を挙げてください。

